

授業科目名: 体育史	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数: 2単位	担当教員名: 綿貫慶徳 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 (1)近代社会を中心として、体育・スポーツの歴史的展開を学んでいく。 (2)日本の近代体育・スポーツに影響を及ぼした西欧における体育・スポーツ事情を理解する。 (3)学校体育における兵式体操導入のねらいを理解する。			
授業の概要 古代から近代にかけての西欧における体育・スポーツの歴史的展開、ならびに、それが日本の近代体育・スポーツに及ぼした影響を学習の柱に据えて、体育・スポーツの通史を概観していく。通史の理解を踏まえ、戦前・戦中・戦後の各期における日本の体育・スポーツの特徴と相違に関する見識を深めていく。			
授業計画 第1回:体育史の対象と研究領域 第2回:体育・スポーツの起源と発展 第3回:古代の娯楽とスポーツ 第4回:古典古代の競技と体操 第5回:中世のスポーツ・身体修練 第6回:近世の体育・スポーツ 第7回:近代体育の源流 第8回:近代体育の成立と展開(1)近代市民体育理論の形成 第9回:近代体育の成立と展開(2)国民体育の成立と展開 第10回:近代スポーツの成立と展開 第11回:戦前期における日本の体育・スポーツの特徴 第12回:戦中期における日本の体育・スポーツの特徴 第13回:戦後期における日本の体育・スポーツの特徴 第14回:現代体育の源流 第15回:新しいスポーツ運動の展開 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 岸野雄三(1984)『体育史講義』大修館書店、4-469-26101-7 木村吉次(2015)『体育・スポーツ史概論』市村出版、978-4-902109-39-9			
参考書・参考資料等 中村敏雄(2015)『21世紀スポーツ大事典』大修館書店、9784469062359			
学生に対する評価 レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			